

離婚にまつわる 不動産事情 ⑦

Re コンサル

文 / 川端ゆかり

家改修し夫婦関係を再構築

夫の定年機に離婚!? K子さんのケース

また4月が来たよ同じ日のことを思い出してえええ♪ と椎名林檎のギブスをカラオケで熱唱したくなるこの季節、いかがお過ごしでしょうか。私事ですが、数年前の4月、屋形船から下船時にジョニーウォーカーポーズで隅田川へ…同じことはもうごめんだ！ しっかりするぞ！ と毎年、心に誓う4月です。さて、本題！

夫がずっと家にいる地獄

今回のご相談者は60代のK子さん。猫好きなこともあり弊社のホームページをご覧になってのご来店。知的な印象の女性です。「**自宅を売却して自分の人生を生きたい。何が嫌かって？ 定年した夫がずっと自宅にいます**」と深くため息をついており事態は深刻でした。「こんなこと子供たちにも親戚にも言えない、けど娘は気が付いていると思う」とのこと。最近では**夫のO男さんと食卓を囲むとめまいや耳鳴りを覚える**とのこと。ストレスから不眠気味で睡眠薬も飲んでいるそうです。

こ、これは…私の範囲を超えて医療の分野な気も…と一瞬白旗を揚げかけましたが、じっくり考えてみました。そして「あり!?!」と気が付きました。

妻は体調不良で離婚を考える

「私もバリバリ更年期なんですけど、その体調不良は旦那さんと過ごす日々が長くなってからですか？」との私からの質問に、「**絶対にそう。今まで仕事、仕事、の人で、夜は接待に休みはゴルフ。2人の子供の子育ても私がひとりでやりました。冷たい人でした。金銭以外に頼ったことはない相手と、これから先、自宅ですと一緒かと思うとやりきれません**」「私には地域のコミュニティー、子育てを通してできたお友達がいる、**子供たちも独立してやっと自分の趣味に打ち込める時間ができたのに、今度はこの人の面倒をみる**



玄関一つでも世帯は別々

なんて耐えられない。外出も気が引ける」とK子さん。言葉があふれ出します。

売却だけが選択肢ではない

いずれにせよ、現在の住宅の価値（市場価格）を把握しておくことは大切ですので、お住まいの戸建て住宅の査定をすることになりました。KさんとO男さんのご自宅は、ちょうど借入金利も不動産価格も高い時期に住宅を購入しており、**現在の市場価格で売却しても手元に思うような資金は残らない＝あまりメリットがないことが発覚しました。ですが、立地はいいので、これ以上売却価格が極端に下がることは考えづらく、将来2人のお子様のいずれかに相続する方向でいいのでは、とアドバイスさせていただきました。**でもKさんの問題は解決しません。

明るい家庭内別居のススメ

そこで「明るい家庭内別居リフォームいかがですか?」とご提案させていただくことに。つまり、一見、仲良く暮らしているように見える住宅の中をお互いが(このケースの場合、

主にKさんが) ストレスなく過ごせるようにリフォームするのです。

玄関はひとつのままドアを替え、1階をKさんの生活スペース兼お仏壇など家族行事対応スペースに。キッチンも念願の対面式へ。和室をわずかに残してリビングを広くしました。そして2階は、定年退職して時間を余らまくっているO男さんの男部屋スペースに。子供部屋と旦那さんの寝室だった3部屋をキッチンとシャワーのついた1LDKへ。外壁もメンテナンスし、築25年たった住宅は生まれ変わりました。

1階にはKさんと猫ちゃんが笑顔で暮らし、2階は男の隠れ家。子供たちや家族が集う時にはリビングで、夫婦お互いの生存確認が笑顔でできるようになりました。また、リフォームしたことで将来的には2世帯住宅としても利用可能!めでたしめでたしです。

そして、なんとビックリ!! Kさんのめまい耳鳴りが治まったのです。**離婚を行動に移すパワーをリフォームへシフトして、なおかつ住宅の価値もキープ。住む人のストレスも改善され、家族、親族、ペットにとっても安心です。**このプランが夫婦間のストレスを抱える全ての方に当てはまるとはいかないかもしれませんが離婚を思いとどまるストッパー的な役割としてはわれながらイケてる気がします!!

相続での配偶者の立場は最強ですからね…なんてね…(‘◇’)ゞ

次回は「住宅ローン完済+1000万円のご褒美!」 See you~

＝毎月第3週に掲載

執筆者



かわばた・ゆかり/1971年、浦添市出身。短期大学卒業後、那覇空港地上職・地元情報誌編集・建設会社不動産部勤務を経て1999年(株)とまとハウジング設立。趣味は猫とお酒と読書、仕事が絡まないゴルフ。<https://www.tomato-okinawa.com/rikon/>